

# EU Indicators

発表日: 2019年12月18日(水)

## 欧州経済指標コメント: 12月ドイツIfo企業景況感

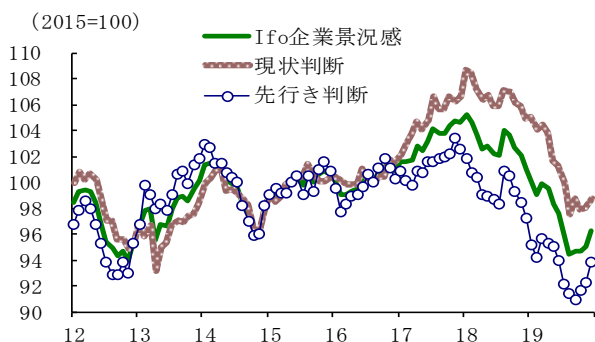
～米中不安後退でサービス業が加速?～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

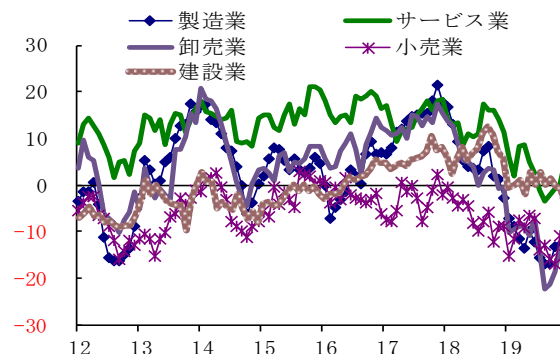
- 12月のドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は4か月連続で落ち込みを回避。前月差+1.2ポイントと単月の改善幅としては比較的大きかった。8月をボトムに緩やかな企業の業況底打ちが確認される。内訳は、現状判断が同+0.8ポイントと2ヶ月連続で改善、先行き判断が同+1.5ポイントと3ヶ月連続で改善した。
- 業種別の業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、小売業と建設業の改善モメンタムが鈍化した一方、卸売業の悪化モメンタムが横這い、製造業の悪化モメンタムがやや鈍化、サービス業の改善モメンタムが大幅に加速し、全体を牽引した。サービス業の改善加速は、現状判断、先行き判断ともに大きい。製造業は先行き判断の悪化幅縮小が牽引、現状判断は逆に改善モメンタムが鈍化。
- 米中貿易協議の進展やブレグジットを巡る不透明感の後退が業況改善を後押ししたとみられるが、業種別の内訳をみると、製造業の底打ちは弱く、サービス業の改善再加速が牽引している。業況底入れの主要因と業種別の動きにやや食い違いもある。サービス業の底堅さが保たれている間に、製造業を巡る不透明感が後退したことを好感したと読める。とは言え、既報のPMIでは製造業の雇用判断に一段とブレーキが掛かり、サービス業の雇用判断も水準こそ高いが明確なピークアウトは確認できていない状況。サービス業の反発の持続性について、今後の動きを見極めたい。

■ドイツ: Ifo企業景況感



出所: Ifo

■ドイツ: 業種別の先行きの業況判断



出所: Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2019				2019											
	1Q	2Q	3Q	4Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
企業景況感(総合)	99.6	98.5	95.0	95.4	100.0	99.0	99.9	99.5	98.3	97.6	96.0	94.4	94.7	94.7	95.1	96.3
現状指数	104.5	102.3	98.7	98.2	105.1	104.1	104.4	103.9	101.6	101.3	100.0	97.5	98.7	97.9	98.0	98.8
先行き指数	95.0	94.8	91.5	92.6	95.2	94.2	95.6	95.3	95.1	94.0	92.1	91.4	90.9	91.6	92.3	93.8
業況判断	17.9	15.2	7.7	8.5	18.7	16.5	18.5	17.5	14.9	13.3	9.8	6.3	7.0	7.0	7.9	10.5
製造業	9.6	3.3	-5.5	-5.4	11.7	9.6	7.5	4.1	4.4	1.3	-4.3	-5.9	-6.4	-5.3	-5.8	-5.0
サービス業	25.1	23.2	16.3	18.5	26.0	22.4	26.9	27.5	21.5	20.7	18.7	13.3	16.9	16.8	17.4	21.3
卸売業	8.6	7.1	-4.6	-3.5	9.2	7.1	9.6	9.6	4.5	7.2	-0.2	-6.6	-7.0	-6.0	-2.3	-2.3
小売業	2.5	6.5	3.8	3.8	-0.9	1.2	7.2	3.5	7.0	8.9	5.0	4.1	2.3	1.5	5.5	4.3
建設業	20.1	23.1	22.4	19.7	20.1	18.5	21.8	21.8	24.9	22.7	23.3	21.6	22.2	21.0	20.3	17.9

出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

